



敦賀港長期構想 第2回検討会資料

令和2年11月 福井県

長期構想検討会における検討の流れ

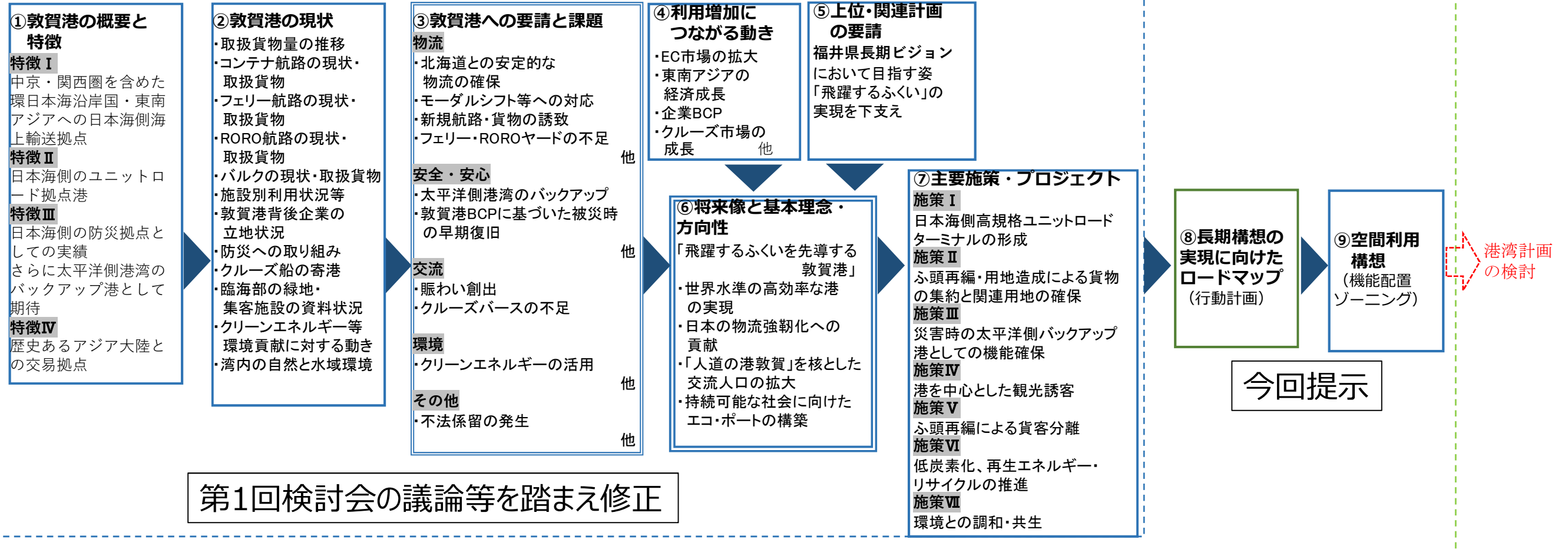
第3回検討会で「最終案」を提示（令和3年1月予定）

第2回検討会で「修正案」を提示（令和2年11月10日）

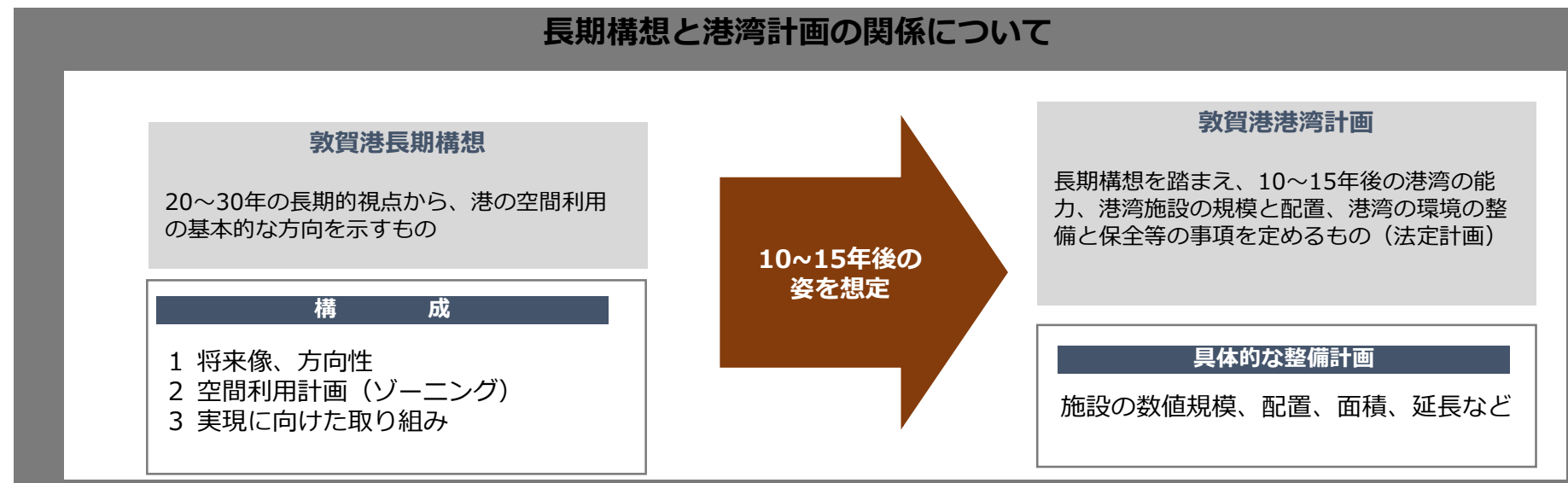
第2回、第3回検討会での長期構想の検討範囲

第1回検討会で「案」を提示（令和2年9月3日）

第1回検討会での長期構想の検討範囲



長期構想と港湾計画の関係について



敦賀港の将来像と基本理念・方向性

基本理念

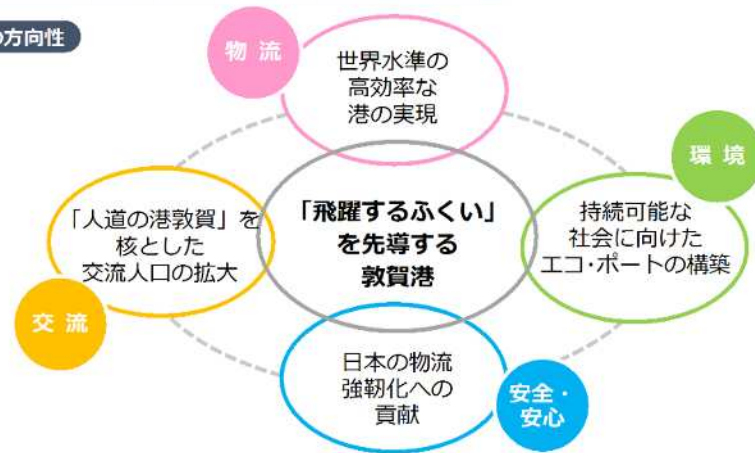
「安心のふくい」を未来につなぎ、さらなる挑戦！

SDGsの理念に沿って、国内物流・国際貿易・交流のエントランスとしての責務を受けとめる

将来像

「飛躍するふくい」を先導する敦賀港

4つの方向性



方向性

1 世界水準の高効率な港の実現

- ・中京・関西から最も近い日本海の玄関口
- ・北海道・九州を結ぶ日本海航路により日本全域が貨物背後圏

施策Ⅰ 日本海側高規格ユニットロードターミナルの形成

プロジェクト

- ①人手不足に伴うモーダルシフトの進展による新たな物流ニーズへの対応
- ②自動離着岸装置等の最先端技術の活用による高効率化・省力化・時間短縮
- ③将来的な成長センターとなる東南アジアに向けたダイレクト航路形成
- ④地理的優位性を活かした対岸諸国等との海上物流ニーズへの対応（韓国・中国・ロシア航路の誘致）
- ⑤港内静穏度の向上
- ⑥企業誘致（製造業、倉庫業等）

施策Ⅱ ふ頭再編・用地造成による貨物集約と関連用地の確保

プロジェクト

- ①貨物種別ごとの集約による高効率化・省力化
- ②物流関連企業の敦賀進出の促進

方向性

2 日本の物流強靱化への貢献

- ・120分圏内の中京・京阪神と高速道路網で複数ルート（さらに中部縦貫自動車道整備中）

施策Ⅲ 災害時の太平洋側港湾バックアップ港としての機能確保

プロジェクト

- ①災害に強い敦賀港の整備
- ②敦賀港アクセス向上に向けた高規格道路ネットワークの整備促進
- ③ふ頭用地の確保・拡充に向けた集荷
- ④施設の適切な維持管理や計画的な更新

方向性

3 「人道の港敦賀」を核とした交流人口の拡大

- ・令和4年(2022年)度末の北陸新幹線敦賀開業、訪日外国人の増加

施策Ⅳ 港を中心とした観光誘客

プロジェクト

- ①クルーズ船誘致の推進
- ②金ヶ崎周辺のにぎわい創出
- ③フェリー乗船客の利便性向上
- ④市民にも愛される港づくり

施策Ⅴ ふ頭再編による貨客分離

プロジェクト

- ①クルーズ・フェリー専用ターミナルの形成
- ②小型船溜まりの整備

方向性

4 持続可能な社会に向けたエコ・ポートの構築

- ・フライアッシュを用いたセメント生産
- ・木質バイオマス発電のためのPKS・木チップの輸入等の実績、社会的要請

施策Ⅵ 低炭素化、再生エネルギー・リサイクルの推進

プロジェクト

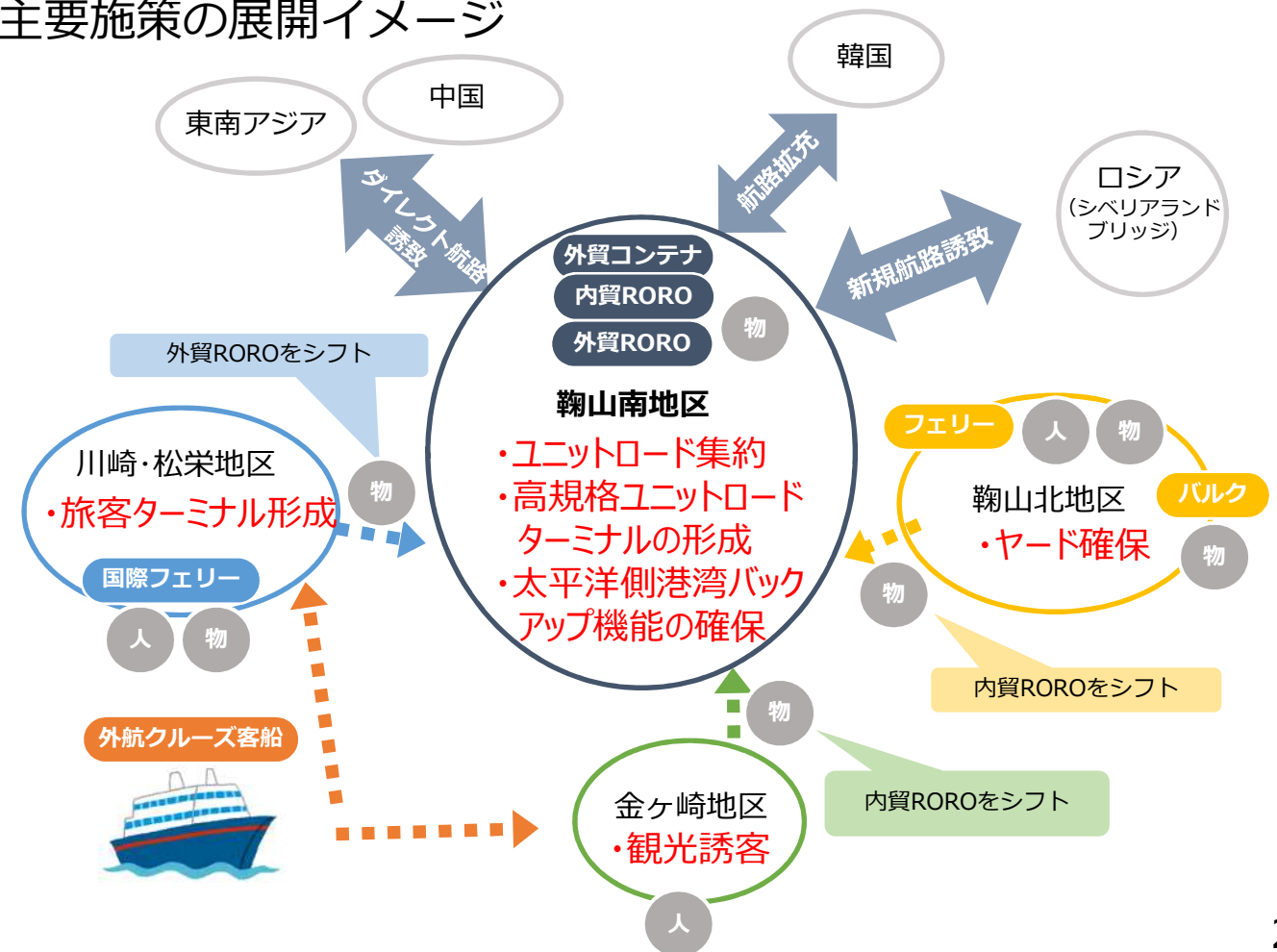
- ①北電石炭火力発電のバイオマス混合燃焼の促進
- ②再生可能エネルギーの誘致
- ③LNGインフラの誘致
- ④モーダルシフトの促進

施策Ⅶ 環境との調和・共生

プロジェクト

- ①養浜等の海岸保全、藻場の保全
- ②水産業の振興

主要施策の展開イメージ



4つの方向性に基づく基本ゾーニング

方向性	ゾーニングの考え方	基本ゾーニング
物流 安全・安心	世界水準の高効率な港の実現 日本の物流強靱化への貢献	物流ゾーン
交流	「人道の港 敦賀」を核とした交流人口の拡大	
環境	持続可能な社会に向けたエコ・ポートの構築	エコゾーン

空間利用構想（機能配置案）

